

# 地域療育支援室（たんぽぽ）では

地域療育支援室では、国立機関の役割として情報発信や研究・地域連携のモデル発信（全国の児童発達支援センターなど）を主目的として通園療育を実施しています。

自閉スペクトラム症及び発達障害が気になる幼児・学童とその保護者を対象として、グループ療育（幼児・学童児に対するデイサービス事業や不登校支援事業）、地域子育て支援拠点型事業などを通して、以下の3つの柱で療育を行っています。

## 発達支援

幼児期や学童期のお子さんに対して、発達検査や机上学習、集団活動等を通して、評価や発達支援を行っています。

## 地域支援

保育所、幼稚園や小学校などへの訪問や、その他の関連機関との連携を図り、地域で一貫した支援を目指しています。また、関連機関に関する情報提供も行っています。

## 家族支援

ご家族の子育て力向上のために、全ての療育において親子通園とし、療育相談、勉強会、親の会のサポート等の支援事業を行っています。

# サービス内容

## 幼児療育（たんぽぽ）



自閉スペクトラム症（自閉性障害、アスペルガー障害、または特定不能の広汎性発達障害）または発達の気になるお子さんに対して、心理・ST・OTによる評価、机上学習、小集団活動、身辺自立、コミュニケーション、家事、余暇スキル等の評価・発達支援を行います。また、ご家族に対しては、子どもを理解し、子育て力を向上することを目的に、療育場面での実際の対応、療育相談、勉強会等を実施します。保育士、幼稚園教諭が発達支援や家族支援を学ぶ研修の場でもあります。

## なないろ



発達障害の疑い（発達障害診断確定前）のある3歳までの幼児とその家族がのびのび遊べる場を提供し、必要に応じて相談をお受けしてお子さんの育ちについて一緒に考えさせていただきます。

対象は、発達障害の診断を受けておらず、所沢市内にお住まいの3歳までの未就園のお子さんとそのご家族です。

## 発達障害児等デイサービス事業（なかま）



自閉スペクトラム症や発達に気がかりな点がある小学1年～6年生の児童を対象として、日常生活における基本的な動作指導、創作活動、地域交流の機会の提供、集団生活への適応訓練を行います。ご家族に対しては、療育相談、勉強会、家族同士の交流を目的としたサロンの場を提供します。

## 発達障害児等不登校支援事業（ステップ）



自閉スペクトラム症等で不登校（不登校傾向）になっている小学校3年生から6年生の学童児に対する心理・ST・OTによる評価、対人関係等の評価・発達支援、居場所作り、その他、様々な成功体験の場を設けます。ご家族に対しては、療育相談、勉強会、家族同士の交流を目的としたサロンの場を提供します。また、相談機関や通学先との連携などの総合的な支援を行うことで、自信を取り戻すことを目指します。

# 療育で大切にしていること

1

子どもを知る（評価）

事前情報・発達検査・療育観察

スモールステップ

分かりやすく伝える

感覚への配慮

など

2

必要な支援・配慮が何かを知る

3

発達を促す・成功体験を積み重ねる

自信がつく

また「やりたい」という意欲がわく

楽しくなる

精神的な安定・余裕が  
でてくる

苦手、嫌いなことにも挑戦しようという  
気持ちにつながる



# 家族支援

☆ご家族に対して、母子通園を通じた支援方法の共有、療育時毎の療育相談、定期的な勉強会（発達障害に関すること等）、親同士のピアカンファレンス、また、親同士の交流を目的とした親の会等を総合的に行い、安心して、楽しく子育てが出来るようにサポート体制を整えています。



療育相談



勉強会

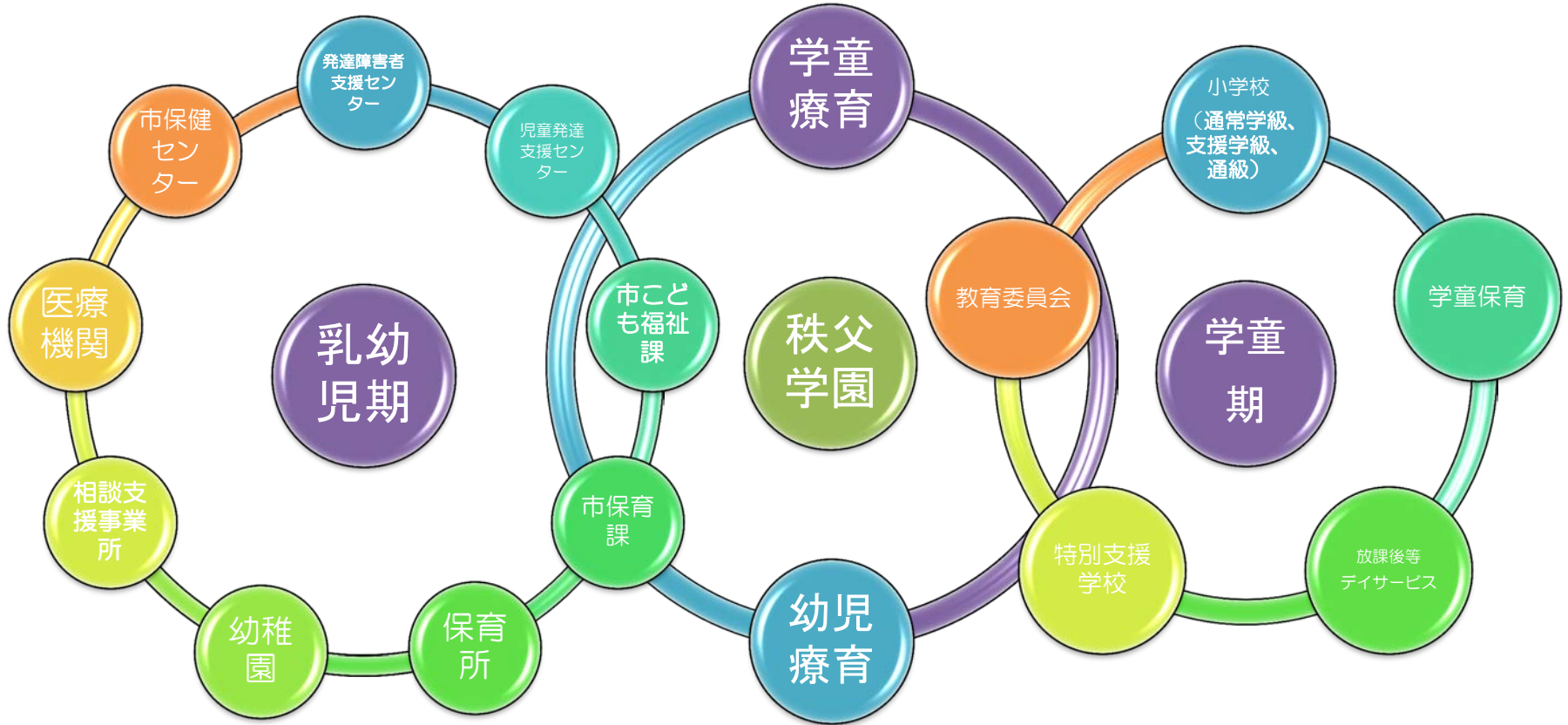


親の会の活動



# 地域支援

☆ 保育所、幼稚園や小学校などへの訪問や、その他の関連機関との連携を図り、地域で一貫した支援を目指しています。また、関連機関に関する情報提供も行っています。



# 子どもを知る

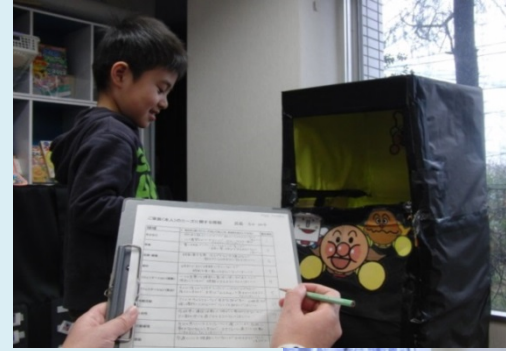
- 一人一人にあった療育を提供するために、お子さんを知ること（評価）を大切にします。
- 事前調査、心理検査の実施、行動観察等を活用して、お子さんの発達レベル、興味・関心、得意・苦手な物事を把握します。

事前調査：ニーズ表・興味関心等のアンケート・園（学校）からの紹介状

心理検査：WISC-IV・KABC-II・DN-CAS・PEP-3・新版S-M社会生活能力検査

言語・コミュニケーションの評価  
感覚・運動面の評価

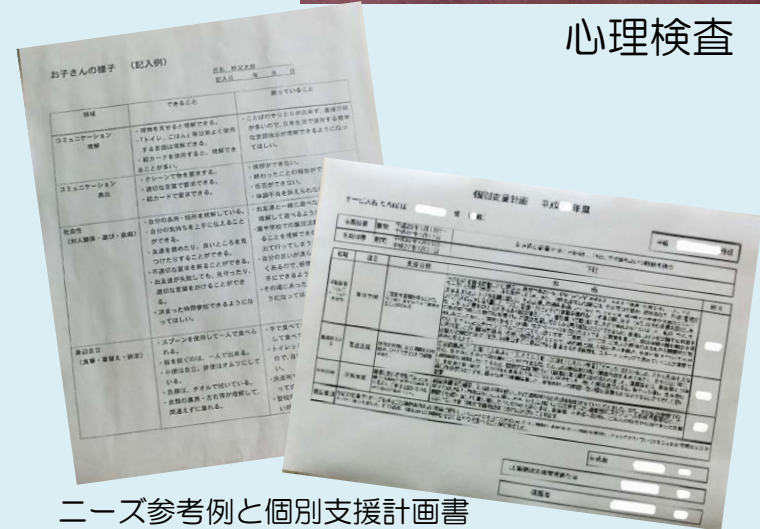
- これらの情報を活用し、バランスの良い個別支援計画書を作成して支援に当たります。



行動観察



心理検査



ニーズ参考例と個別支援計画書

# 幼児療育 たんぽぽ



## 目的

発達が気になる等の幼児を対象に、ご本人への療育・ご家族に対する療育相談や勉強会を行います。保育士・幼稚園教諭が、発達障害児への理解を深める研修の場として、設定しています。

## 療育の対象と定員

### 対象

- ・保育所・幼稚園に通う幼児（年少・年中・年長）
- ・自閉スペクトラム症（自閉性障害、アスペルガー障害、または特定不能の広汎性発達障害）等の発達障害がある、または発達が気になると健診等で医師または保健師に助言を受けた方。

### 定員

- ・6名

### 時間帯

- ・火曜日 9:30～11:30

### 実施期間

- ・1年間

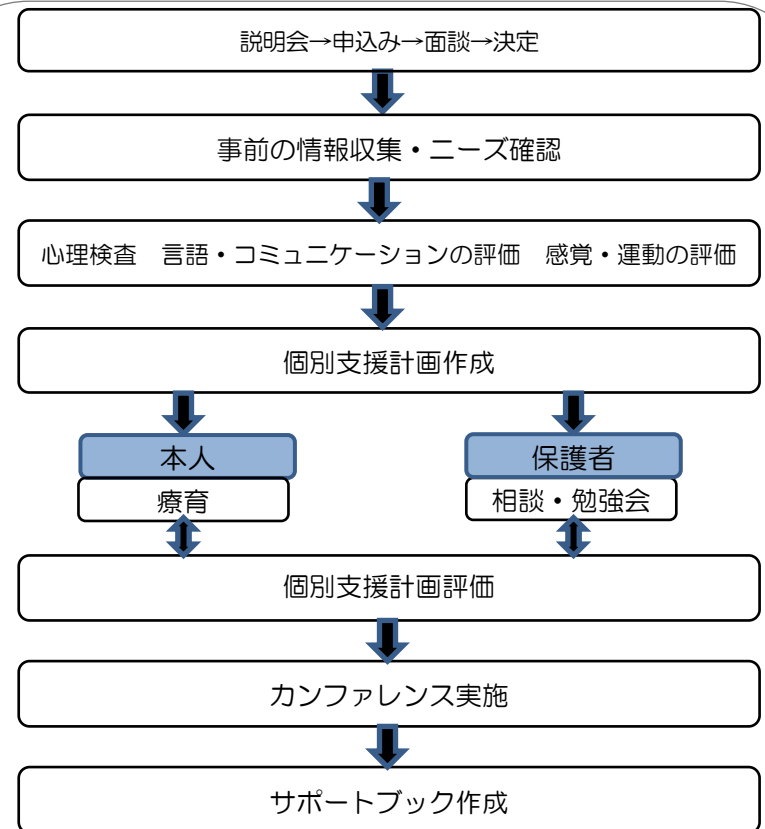
### 利用料

- ・無料（おやつ代は実費）

### 条件

- ・保護者同伴で1年間通園が可能な方。
- ・療育開始までに、通園先（保育園・幼稚園）もしくは医療機関・保健センター等からの紹介状を用意できる方。
- ・診断書作成や服薬調整等のできる医療機関にかかっている方。

## 1年間の流れ



# 幼児療育 たんぽぽ



## 行動管理

スケジュールなどの視覚的な手がかりを使って活動の見通しを持つこと、好きなことを終わりにできる、順番を守る、ルールが理解できるなど、行動の管理ができるようになることを目指します。



## コミュニケーション

お子さんのモチベーションが高い活動の中で、欲しいことを人に伝えられるよう練習をします。おやつや玩具は自由には取れない設定にすることで自発的なコミュニケーションを引き出します。



## 余暇

玩具や感覚グッズを使って遊びを拡大し、一人で自由な時間を過ごすこと、また設定された場面で、遊び方、ルールの理解、順番交代などの練習を通して、「人との関わりが楽しい」という経験を積みみます。



## べんきょう

机に向かって何かに取り組む学習体勢をつくることから始め、文字・数字の学習、手を使う細かい作業、人の指示に沿うなどの課題を通して「人との関わりが楽しい」という経験や「ひとりでわかった・できた」という経験を通して自己肯定感を育みます。



## 身辺自立の支援

スプーン・お箸の使い方や排泄・手洗い、着替えの際のボタンの掛け方など身辺自立について支援し、スキルの獲得を目指します。また理髪が苦手なお子さんに対してスモールステップで理髪の練習をして理髪行為が受けられるよう支援します。





# 発達障害児等デイサービス事業 なかま



## 目的

自閉スペクトラム症などの児童を対象に、日常生活における基本的な動作指導、集団生活への適応訓練などを放課後に行います。

## 療育の対象と定員

### 対象

- ・小学1～6年生の児童。
- ・自閉スペクトラム症（自閉性障害、アスペルガー障害、または特定不能の広汎性発達障害）等の発達障害がある、または発達が気になる児童。

### 定員

- ・10名

### 時間帯

- ・木曜日 14:30～17:00

### 実施期間

- ・1年間

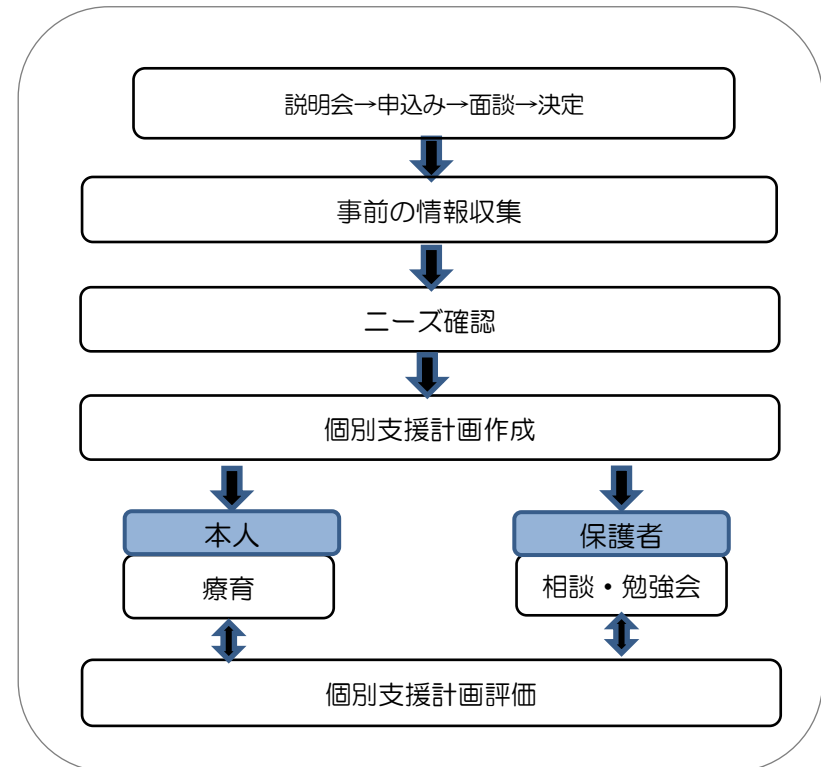
### 利用料

- ・無料（おやつ代は実費）

### 条件

- ・1年間通園が可能な方。
- ・ご家族が送迎できる方。

## 1年間の流れ



# 発達障害児等不登校支援事業

# ステップ



## 目的

不登校傾向にある発達障害等の児童を対象に、ご本人への療育、ご家族への勉強会、相談機関・学校等の教育関係機関との連携等、複合的な支援を行い自信を取り戻すことを目指します。

## 療育の対象と定員

### 対象

- ・通常学級に通う小学3～6年生。
- ・自閉スペクトラム症（自閉性障害、アスペルガー障害、または特定不能の広汎性発達障害）等の発達障害がある、または発達が気になる児童で、不登校（不登校傾向も含む）にあるもの。

### 定員

- ・7名

### 時間帯

- ・水曜日 16:00～18:00

### 実施期間

- ・1年程度

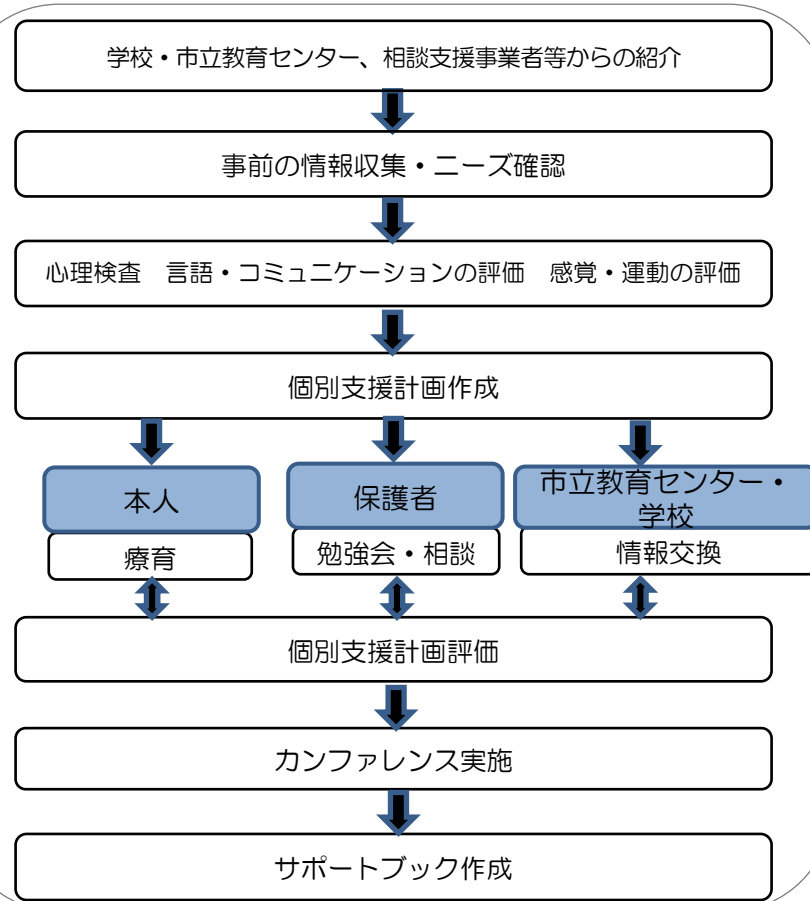
### 利用料

- ・無料（行事代などは実費）

### 条件

- ・保護者同伴で1年間通園が可能な方。

## 1年間の流れ





## 本人支援

個別の机上学習や集団活動などを通して、ライフスキル・ソーシャルスキル・コミュニケーションスキル・自己理解などについて学びます。また、タブレット等の代替手段の活用、趣味や得意な活動を通して、本人の居場所を作り、様々な成功体験の場を設け、自己肯定感を育むことを大きな目標としています。



## 家族支援

療育相談で子育ての不安や悩みに対しアドバイスを行ったり、保護者に活動の様子を見てもらい、家庭での対応のヒントとしてもらいます。また、ご家族向けの勉強会を開催します。



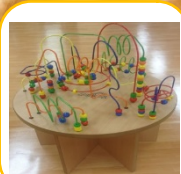
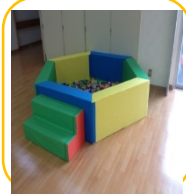
## 教育との連携

学校等の教育関係機関や相談機関と連携して、ご本人の評価や支援のポイントを関係する機関で共有します。

# あそびの広場「なないろ」

(地域子育て支援拠点型事業)

あそびの広場  
なないろ



あそびの広場「なないろ」は、発達障害の疑い（発達障害確定診断前）のある未就園の3歳までのお子さんとその家族を対象に、のびのびと気軽に親子で遊べる場所を提供します。また、必要に応じて相談を受け、医療機関や教育機関（保育園や幼稚園）など情報提供を行います。

対象は、所沢市内在住で発達障害の診断を受けていない、未就園の3歳までのお子さんとそのご家族です。

開館日時は月・金の10:00~12:00です。お休みもありますので、事前にホームページ等にお知らせいたします。

# 作業療法（OT）・言語聴覚療法（ST）

**作業療法（OT）**では、“あそび”という作業活動を通して「物を触ろうとしない/触れられることを嫌う」「不器用（はさみや箸を上手く使えない）」「遊具で/お友達とあそべない」…といった行動特性の原因を考え、感覚統合理論を基にしたアプローチを行います。

＜実際の検査用具（例）＞

## 日本版感覚統合検査 JAPAN 感覚処理・行為機能検査



また、ご家庭でも実践していただけるような環境の設定や遊びの工夫についても一緒に考えていきます。

**言語聴覚療法（ST）**では、言語・コミュニケーションの発達に問題を持つお子さんへの支援を行います。



「ことばがでない」「発音がはっきりしない」「呼んでも振り向かない」「会話にならない」など、コミュニケーション行動のご心配な点について、言語・コミュニケーションの発達の評価や指導のほか、発達や症状に応じた環境調整、助言、指導等ご家族への支援を行います。また、ことばの発達を支え、生活を容易にする視覚認知面の発達についても促します。

そのほか、摂食・嚥下機能に問題のあるお子さんに対し、食事指導・相談を行います。